



OLIVE



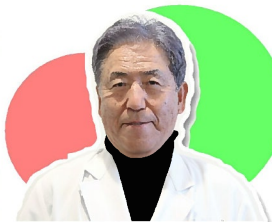
令和3年新春号

新年のご挨拶



皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界中が不安と混乱に陥った年となりました。2020年という並びの良い年にオリンピック、パラリンピックが開催されることに胸を躍らせていたのが、遠い昔のように感じられます。

当院も面会制限等を行い、皆様にはご不便ご迷惑をおかけしていますが、感染対策にご協力いただき心から感謝申し上げます。まだしばらくは継続していかなければなりませんが、ワクチン接種の開始など明るい兆しもでてきています。一人ひとりが感染しない、させないを第一に今しばらく頑張っていきましょう。こんな時代だからこそ、地域の皆様に寄り添い守っていく病院、介護施設であることを私の今年の抱負として掲げたいと思っています。本年も宜しくお願い致します。



(院長 塚川 博志)

介護ホームでの口腔ケア

口腔ケアは、口の中だけでなく体全体の健康を維持するために必要なケアです。加齢に伴い、口腔内では唾液や自浄作用が低下し、食べ物の飲み込みにも障害を起こしやすくなります。高齢者に多い誤嚥性肺炎も、誤嚥（唾液や飲み物、食べ物が誤って気管から肺に入り込んでしまうこと）の際に口腔内の細菌が肺に入ってしまうことで起きます。



介護ホームでは、誤嚥性肺炎等のリスクを減らすべく、令和元年より口腔ケアに力を入

れてきました。歯科衛生士の資格を持つスタッフが2名在籍しており、定期的に各部署を周って利用者さんの口腔ケアを行ったり、勉



<口腔ケアのメリット>

- ◎虫歯や歯周病を防ぐ。
- ◎誤嚥性肺炎などの感染症を予防する。誤嚥が生じた場合でも、菌が減少していれば重症化を防げる。
- ◎よく嚥んで飲み込むことで栄養がしっかりと吸収され、食事を味わうことができる。
- ◎嚥むことで脳が活性化し、認知症を予防できる。
- ◎QOL（生活の質）が向上する。歯の不具合や口臭の悩みが解消すれば、「食べる」「笑う」「話す」を楽しめるようになる。



強会を開催したりして、口腔ケアの大切さや正しい磨き方を伝えています。口腔内に疾患のあった利用者さんのご家族から、「口臭が減った」と大変喜ばれました。利用者さんの健康を守り、いつまでも自分らしく生活してもらうためにも、これからも口腔ケアをしっかり行っていききたいと思います。

(三輪)



呼吸、食事、会話の3つの機能を備えている口。口の中にはたくさんの細菌がありますが、細菌を自分で除去できるのは口だけです。口腔ケアでは、磨き方が非常に重要になってきます。「磨いている」と「磨けている」は違います。自分に合った道具で正しい磨き方を行い、健康を保っていきましょう。

口腔ケアを通して、口は命につながっていると改めて感じます。今後も介護スタッフの口腔ケアの知識を高め、技術を伝えていきたいと思っています。(歯科衛生士 梅木、関)

◆運営理念◆

私たちは「信頼」「安心」「満足」をモットーに、患者様への心の通った「ぬくもり」のある病院をめざします。

つかがわTOPICS プラセンタ外来を始めました

当院では、1月より「プラセンタ外来」を開設し、プラセンタ埋没療法を始めました。近年、美容やアンチエイジングで注目されるプラセンタですが、慢性病や難治性疾患など様々な疾患に効果があります。



▼プラセンタとは？

プラセンタとは、日本語で「胎盤」のことです。0.1mmほどの受精卵をわずか10ヶ月で約3kgの胎児に育て上げるプラセンタは、多くの栄養素と驚異的な生理機能を持っています。その歴史は古く、古代より珍重されてきました。



▼プラセンタ埋没療法とは？

冷蔵した胎盤組織を皮下に注入する治療法です。局所麻酔後、特殊器具を用いて埋没します。頻度は1ヶ月に1回程度。健康保険の対象にはならず自費診療となり、1回9,900円（税込）です。

▼プラセンタ埋没療法の効果

その薬理作用は多岐にわたり、人間の「自然治癒力」を高める働きがあります。

例) 自律神経やホルモンのバランスを整える／免疫力を強化し抵抗力を高める／炎症を抑え、壊れた組織を修復する／基礎代謝を活発にし、細胞や臓器の働きを高める／肝臓の働きを高める／血液の循環を改善する など

<有効な疾患> 高血圧／低血圧／慢性肝炎／肝硬変／メニエール病／めまい／潰瘍性大腸炎／クローン病／アレルギー性鼻炎／じんましん／肝斑／慢性頭痛／気管支喘息／関節痛／腰痛／肩こり／更年期障害／月経不順／不妊症／自律神経失調症／冷え性／疲れやすい など ※治療効果には個人差があります。

プラセンタ外来担当医師：橋永 邦彦医師

診察日：水・金曜日午後
第2・4土曜日午前



アルメイダ病院、別府医療センター等に勤務後、父親が開業していた国東に帰り、33年間地域医療に励みました。19床の有床診療所で、当時は当番医制度もなく24時間張り詰めた毎日で大変でしたが、充実した日々でした。6年前に閉院し、知り合いの別府市内の病院で一般内科医として勤務。本年1月から当院に勤務することになりました。患者さんと話すことが好きなので、気軽に声をかけてくださると嬉しいです。プラセンタ埋没療法をやっていますので、よろしくお願いします。

<プロフィール> 医学博士、日本内科学会内科認定医、日本医師会認定産業医、大分オレンジドクター
おおいた糖尿病相談医 趣味：旅行（国内温泉地、海外）、カメラ、ピアノ

プラセンタ埋没療法について気になることがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

陰圧テント設置（透析室）

陰圧テントを設置しました。陰圧テントとは、空気を外に漏らさない陰圧室のようにできる特殊なテントで、感染症患者からのウイルス等の拡散を防止できるものです。発熱者や症状が出ている患者さんにはその中で透析治療を受けていただきます。透析室では、マスクや防護服、手指消毒など徹底して感染対策を行っています。（透析室師長 久保）

透析室では、新型コロナウイルス感染対策として、



豊の国雇用促進フェスタ：永年勤続表彰



11月2日、トキハ会館にて「豊の国雇用促進フェスタ」が開催されました。高齢者や障害者らの雇用促進を図るためのもので、当院は高齢者雇用優良事業所として



知事表彰を受賞しました。今後も多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に行ってまいりたいと思います。

毎年12月に行う永年勤続表彰。今年は17名の職員が表彰されました。（5年6名、10年4名、15年7名）賞状と記念品授与ののち、院長からは感謝と激励の言葉が贈られました。みなさん、おめでとうございます。これからの活躍も期待しています。



▲勤続15年を迎えた職員と院長、副院長

介護ホームつかがわTOPICS

11月30日、大分南高校より「生きる」というテーマで講話の依頼を頂き、「看取り」について高校3年生に向けてお話しさせていただきました。



「看取り」とは、その方の人生の最終章です。第2の家ともいえる介護施設で最期の時間を後悔なく過ごしてもらいたいという想いで、これまで「看取り」に取り組んできました。安全で安楽に過ごせるよう手厚くお世話をさせていただき、ご家族の想いも汲みとれるよう何度も相談しながら看取りを行い、ご家族から感謝の言葉をたくさんいただいていることを伝えました。「生きる」というテーマのため、私の持病の話もしました。病気の進行によって出来なくなることが増えて

命の授業「生きる」

いくのが自分の中で受け入れられないという葛藤を正直に話しました。自分の経験を通じて「現実を受け止めるには強い意志と時間が必要だということ」や「『また明日』と言った明日が当たり前に来るとは限らないから、今この時・この一瞬を大切にしたいこと」を生徒達に伝えました。

私の想いが生徒さん達に通じたのか、最後の質問コーナーでは命のことから社会に出た時の不安な気持ちにいたるまでたくさんの質問が出て、これから社会に飛び立つ若者たちととても良い交流が出来たと思います。



後から届いた感想文は生徒さんたちの想いがつまっており、私の宝物になりました。

(介護部長 小倉)

リハビリ勉強会



通所リハビリでは昨年6月より、10名前後の利用者さんを対象にリハビリ勉強会を始めました。利用者さんが疑問に思う「なぜ」をテーマにしています。「なぜ足がつるの?」「なぜ膝が痛むの?」等、身近な疾病や症状、興味を持たれている事を説明しています。自身の病気や症状と照らし

合わせながらみなさん熱心に聞かれています。利用者さん同士で体験談を笑いながら話す場面もあり、とても和やかな雰囲気です。勉強会の最後には自宅でも可能な運動も合わせて紹介・実践しており、実際に自宅で運動に取り組まれる利用者さんも増えてきました。

このリハビリ勉強会が自身の身体と向き合うきっかけとなり、健康に対する意識が高まるよう、また身体機能の向上に繋がるよう、今後も継続して行いたいと思います。

(理学療法士 芝)



通所リハビリのクリスマス×手話コーラス

昨今の様々な制限がある中で、少しでも楽しい時間を過ごそうと、通所リハビリでは12月12日から3日に分けてお楽しみ会を開催しました。



▲ソリならぬ車イスで登場するサンタクロース

12月といえば、クリスマス。職員はサンタクロースやトナカイに扮し、スライドショーやジャンケン大会で盛り上がりました。サンタクロースからクリスマスプレゼントも♪プレゼントはいくつになっても嬉しいものですね。とても喜んでいただけました。

いました。手話は、表現を覚えることで脳を使い、指や体を動かすことでリハビリにもなります。コロナの影響でみんなで大きな声で



歌を歌う事も難しい今、利用者さんと一緒に手話で歌(言葉)を表現出来る素晴らしさを改めて実感しました。また、歌詞を一つひとつじっくり読むことで、何



気なく歌っている歌に対しても新しい発見があり、とても有意義なお楽しみ会となりました。

(三輪)



最後のお楽しみは、手話コーラス。「赤鼻のトナカイ」と「上を向いて歩こう」の2曲を手話コーラスで歌



塚川第一病院 外来診療一覧



受付時間：平日 8:30~12:00 14:00~17:00 土曜日 8:30~12:00
休診日：土曜日午後・日曜日・祝祭日・6月15日（開院記念日）



科名	受付時間	月	火	水	木	金	土
循環器内科 糖尿病内科	8:30~12:00	院長	橋永絵理	院長/渋谷	院長	—	—
腎臓内科	8:30~12:00	平岡	平岡	—	—	平岡	—
消化器内科	8:30~12:00	和氣(内視鏡)	和氣(内視鏡)	和氣(内視鏡)	溝口(内視鏡)	和氣(内視鏡)	和氣(内視鏡)
	14:00~17:00	和氣	和氣	和氣	溝口	和氣	—
呼吸器内科	—	14:30~17:00 小宮	—	—	—	—	8:30~12:00 吉川/後藤 松本(紘)
精神科 心療内科	14:00~17:00	副院長(再診)	—	—	副院長(再診)	—	—
整形外科	14:00~17:00	—	—	—	山口	—	—
プラセンタ 外来	—	—	—	14:00~17:00 橋永邦彦	—	14:00~17:00 橋永邦彦	第2・第4 8:30~12:00 橋永邦彦

※はじめて精神科・心療内科・整形外科を受診される方は電話にてお問い合わせください。

※黒岩医師は第2水曜(9:00~12:00)のみ外来診療しております。

医療法人博光会 事業所紹介

●塚川第一病院●

所在地 大分市東春日町5番25号

TEL 097-532-0234 FAX 097-532-0233

ホームページ <http://www.hakkokai.com/>

病床数：60床（一般病棟25床 療養病棟35床）

人工透析室 44床

診療科：一般内科、循環器内科、
腎臓内科、糖尿病内科、消化器
内科、呼吸器内科、人工透析内
科、精神科・心療内科、整形外
科、リハビリテーション科



●訪問看護ステーションつかがわ●



所在地 大分市東春日町5番25号

TEL 097-535-2283 FAX 097-535-2280

●介護保険サービスセンターつかがわ●

所在地 大分市東春日町6番28号(3F)

TEL 097-548-5010 FAX 097-574-8720



●介護ホームつかがわ●

通所リハビリテーションつかがわ(病院5F)

所在地 大分市東春日町5番25号

TEL 097-536-1183 FAX 097-536-1185

●小規模多機能ホームつかがわ(1F)

TEL 097-540-6717 FAX 097-540-6718

●グループホームつかがわ萌(2F)

TEL 097-548-6816 FAX 097-548-5126

●グループホームつかがわ藍(3F)

TEL 097-548-5122 FAX 097-548-5126

●デイサービスつかがわ笑(4F)

TEL 097-540-6020 FAX 097-540-6028

●デイサービスつかがわ遊(5F)

TEL 097-548-5050 FAX 097-548-5016



●有料老人ホームつかがわ牧

所在地 大分市牧3丁目2番23号

TEL 097-556-3350

FAX 097-556-3356



●ヘルパーステーションつかがわ●

所在地 大分市東春日町6番28号(3F)

TEL 097-574-5236 FAX 097-574-5237



■編集後記■ 明けましておめでとうございます。昨年はコロナに翻弄された1年でした。今年はワクチン接種も始まるようですが、まだしばらくは感染対策に気が抜けません。ところで、私は一昨年から猫を飼い始めたのですが、昨年3匹に増えました。今では猫なしの生活は考えられないほどの猫好きに…。猫のお陰でうち時間も楽しくなって、コロナ禍での幸せな変化です。皆さんの「いい変化」は何ですか？小さくても楽しいこと嬉しいことを見つけていきたいですね。それでは、今年もOLIVEをよろしくお願いします。(文責 五十川)